

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する注意喚起
－主に講義等室内での授業実施について－

令和2年3月27日
水産大学校校長

教員各位

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議が3月9日に示した見解によれば、これまで集団感染が確認された場に共通するのは、①換気の悪い密閉空間であった、②多くの人が密集していた、③近距離での会話や発声が行われた、という3つの条件が重なった場であるとされています。

これらの見解から、本校において4月から新学期が開始となる中、当面の間は主に室内での授業実施に際して、以下の事項について、各担当教員が実施を心掛けてください。

- ・授業の始まりに、咳エチケットや手の消毒を行うことについて、学生に注意喚起する。
- ・教室内や実験室内の空気が滞留しないよう、適切に換気を実施する。
- ・使用する教室で席が空いている場合は、学生が密集して着席しないよう配慮する。

その他、屋外での実験や実習時も、上記した3つの条件が重ならないよう、授業内容や環境ごとに、各担当教員で十分注意してください。

以上